



人とともに、地とともに。
SANKA

人とともに、地とともに。
SANKA

本社
〒955-0055 新潟県三条市塚野目2153-5
tel 0256-36-1113 fax 0256-36-1114
www.sanka.ne.jp

FACTORY

ここはまさにモノづくりの
オールラウンダーです

2021年 新潟県三条市塚野目に
機械工場、プレス・板金工場、大月工場を
造成しました。



事務所・プラスチック成形工場
(本社・塚野目成形工場)

プラスチック製品を製造する工場は、営業部や企画開発部のある本社に隣接しています。小型～大型まで射出成形機を備え、あらゆるサイズの製品を製造できます。



アッセンブリ工場

各工場で加工した部品を集約し、組み立てまで一貫して請け負う“アッセンブリ”を行い、お客様のリードタイム短縮に貢献します。



プレス・板金工場

工程ごとに何台も機械を使い分け、金属の板を抜く、曲げる、接合するなどの加工を行います。全自動でレーザー加工を施す最新機器も取り揃えています。



機械工場

金属を刃物で削り、穴あけやみぞ削りなどの加工を施します。大小さまざまな工作機械を有し、鋼・ステンレス・アルミ・銅など各種金属の加工ができます。





なんかいいね、くらしに。



METAL

金属加工

充実の設備で
金属加工技術を支え
モノづくりの根幹を担います

複合機



□複合機
ACIES-2512T

マシニング

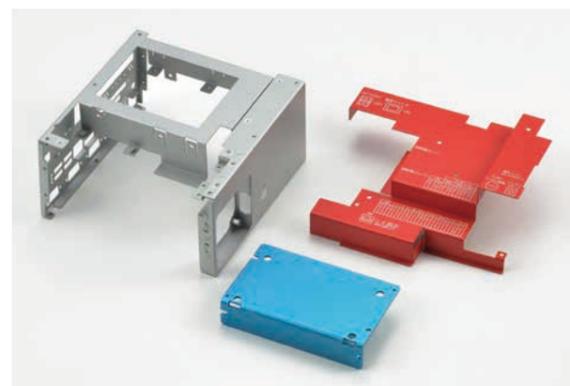


□横型マシニングセンタ
a81nx

旋盤



□主軸台移動形CNC自動旋盤
L20XIB5



PLASTIC

プラスチック成形

OEM から収納用品

24 時間稼働の生産ラインで

即納、即対応



射出成形



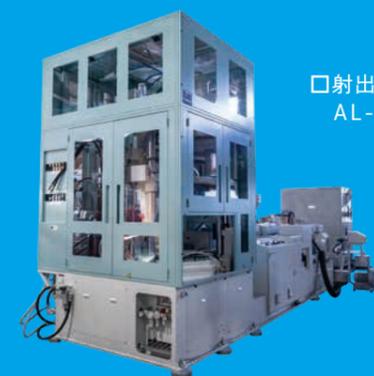
□電動射出成形機
J450ADS

二色成形



□二色異材成形機
DCX600III

インジェクションブロー成形



□射出延伸ブロー成形機
AL-500LL-50S

WOOD

木工加工

木の特性をいかした

加工方法、手法で

木製品をつくります



切断加工



□万能パネルソー
3V315

曲線、溝削り加工



□自動多軸モルダー
KM-6220

切削加工



□ベーシックNCルータ
NC2001-1321X

SERVICE

SANKA のモノづくりを生み出すソリューション

1

自動車から暖房器具まで 産業用機械部品

産業用機器部品の加工は私たちの根幹となっている事業。モノづくりの基本技術を磨く上でも重要で、自動車用パーツや暖房器具など、日本国内でも多くの取引実績があります。

2

メーカーと共にモノづくり OEM製品

お取引先様のブランド名を冠した商品を製造する、OEM製造も多く手がけています。当社の持つトータルな加工ノウハウと一貫生産体制に、多くのお客様より信頼をいただいている証です。

3

企画力×技術力を生かす オリジナル製品

これまでのビジネスで培った企画力と技術力を活かして、オリジナル製品も製造しています。機能性、デザインや仕上がりの美しさにもこだわり、コストの面でもお客様の満足できる商品を目指しています。

SALES

営業

お取引先様やマーケットと、製造現場をつなぐのが営業の仕事。お得意先様を営業するだけでなく、エンドユーザー向けの商品を生産しているため、販売店からの拡販がスムーズにいくような販促活動や、市場動向やトレンドなどマーケット情報の収集も行っています。



PLANING

企画開発

「企画・開発」それはモノづくりの出発点です。私たちは消費者の動きを読むマーケット感覚と、新たな価値を提案するプロダクトデザイナーとしての感覚の両軸を大切にしながら、市場のニーズを先取りした商品企画・開発を行っています。

SOLUTION



MACHINING

金属加工

材質や形を問わずトータルな加工技術を提供し、24時間生産体制で合理化・短納期化を実現。また、ますます高度化・多様化・複雑化している顧客ニーズに対応するため、積極的な設備投資と人材育成に努めています。

MOLDING

プラスチック成形

私たちの業務は機械の操作ではありません。新商品の企画に携わり、構造の検証や試作品の調整をサポート。量産体制の構築や製造ラインの管理も業務の一つです。他部署と連携しながら、より良い製品づくりに励んでいます。

SALES

営業

BtoB から BtoC まで
 拡大する市場を的確にとらえ
 売り上げ目標を達成する



量販営業部
内山 昂之

1

BtoBからBtoCまで 様々な市場を開拓

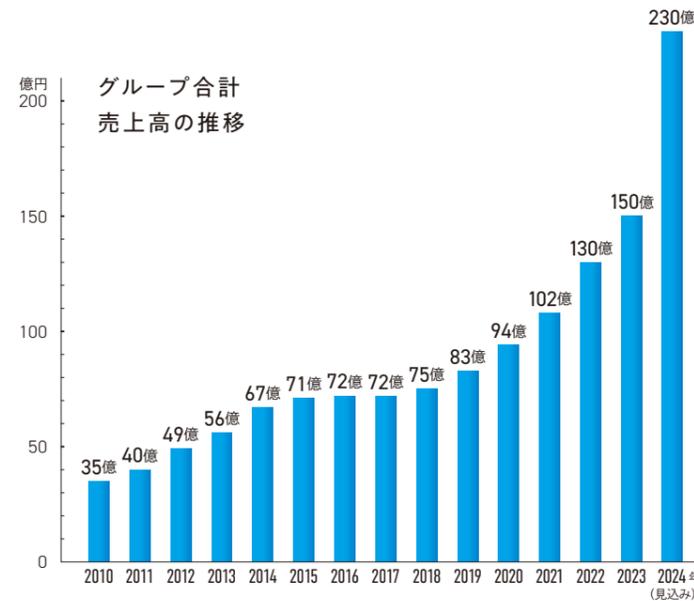
オリジナルブランドの市場開拓から、OEM製品の開発サポート、商業用部品のコストカット・短納期化のご相談まで…。私たち営業の関わる範囲は多岐にわたり、さまざまな立場・視点で業務に取り組んでいます。消費者のニーズや、販売者の悩みや苦勞も、リアルタイムに把握でき、双方に具体的な企画提案が可能に。これからも、さまざまな視点で市場を切り開いていきます。



2

時代とニーズを読み 11期連続成長中

一つでも多くの商品を得意先へ導入していただくことが営業の役割。11期連続成長のうらには、設備や人材への投資を惜しまず、常に未来を見据えた営業活動を展開してきた自負があります。現在、工場を新設し製造ラインの増強に着手。勢いを止めることなく、今後は海外へも販路を拡大する計画です。2017年にSANKAベトナムを新設し、アジアへの足がかりはできました。次は欧米へ、SANKAの挑戦は続きます。



VOICE

message from
Takayuki UCHIYAMA



商品提案から陳列まで
 責任をもって請け負います

お取引先様が拡販しやすい提案をするために、市場調査や最新トレンドの情報収集はもちろん、改装や新店オープン時に向いて商品の陳列作業なども行っています。以前、私の確認不足で指定の納期に間に合いませんでした。社内各部署とお取引先様のご協力のもと、被害は最小限に食い止めたものの、非常に反省した出来事です。以降、しっかりと相互確認を取り何事も時間に余裕を持って行動するよう心がけています。



国内はもとより海外への
 販売ルートも拡大中です

営業の奥深さは、どんなに良い商品でも伝え方一つで印象が大きく変わるという点だと思います。一口に収納用品、レジャー用品といっても、使うシーンや季節によって最適な商品は異なります。また、同じ商品でも使い方やカテゴリーを変えるとユーザー層が大きく変わることも。営業力次第では、国内だけでなく文化の違う海外の方にも商品提案ができるはず。一人でも多くの方にSANKAの商品の良さを知ってもらうため、日々勉強を重ねて知識を身につけていきます。

PLANING

企画開発

日々変化するライフスタイル

機能性とデザインで

よりよい暮らしを提案する



グラフィック担当
小口 悠子

1

OEM製品から自社のブランドまで幅広く制作

SANKAは設計から梱包、納品まで全工程を社内で完結できるため、各部署と密接な連携を取りながら短期間で高品質な製品の開発が可能です。この製造力を生かして展開している事業がオリジナル収納シリーズブランドなどの商品企画です。ゼロから作り上げ、消費者に届ける経験を繰り返しているからこそ、OEM製品の開発支援も自信を持ってサポートできるのです。



2

様々な材質を扱ったSANKAのモノづくり

当社は金属加工、プレス加工、木工加工、プラスチック成形まで、幅広い加工技術を有しており、異素材を組み合わせた製品もワンストップで製造することができます。さらに、24時間稼働の生産ラインや即応・即納で万全のバックアップ体制を構築。生活用品などが多いOEM製造商品のご依頼では、安心して任せられることができるとお取引先様から高い評価をいただいています。



VOICE

message from
Yuko OGUCHI



商品の良さが伝わる
販促を心がけています

現在は、自社ブランドの商品パッケージやPOPの制作、カタログなどのイメージ撮影を担当。新商品が決定すると、コンセプトを基に商品カラーを選定、ラベルデザインを行い、ラベルの貼り位置まで一つひとつ確認をしながら決めていきます。商品画像の撮影はプロのカメラマンですが、シーンや小道具の指示は自分たちで。悩んだ時は先輩や上司にアドバイスをもらい、納得がいく仕上がりになるまで作り込んでいきます。



チームで力を合わせて
時代にあった商品開発を

入社してから今まで、ずっと上司や先輩、同僚に支え続けてもらっています。以前、ダンボールデザインで印刷ミスをしてしまった時には、工場納品後だったにもかかわらず、同僚の協力のおかげで商品の梱包までに修正ができ、目立った混乱もなく予定通りに出荷することができました。これからは、自分が「支える側」になって、後輩と一緒に次の時代に必要とされる商品を開発していきたいです。

MACHINING

機械加工

24時間生産体制で合理化し
高いコストパフォーマンスと
スピーディーな納品を実現する



リーダー
船岡 拓浩

1

24時間生産体制を実現 合理的なワークフロー

企画から設計、試作、製造、梱包、発送まで、一つの商品が消費者の手元に届くまでにはたくさんの工程があります。当社は、その入り口から出口まで一貫体制で引き受けられることに加えて、24時間生産体制で合理化・短納期化を実現。効率良く、ミスなく作業ができるように工場設備を整えたり、ワークフローを見直したりと、技術力以外の部分にも日々気を配りながら作業を行っています。



2

機械加工から溶接など トータルな加工技術

金属加工にはさまざまな種類があり、基本的には一つの機械で行える工程は一つです。そのため、機械加工から溶接までトータルに行うには、かなりの設備投資が必要。最初は一台の加工機械から始まった当社ですが、お取引先様のご要望に応えられるよう少しずつ機械を増やし、今では200台以上の加工機を備えています。機械加工に対する広く、深い知識を活用して、製品に合わせた加工の提案も行っています。



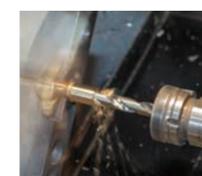
マシニング加工



プレス加工



レーザー加工



CNC旋盤加工



溶接加工



ロボット溶接加工



VOICE

message from
Takuhiro FUNAOKA



ベテランから新人まで
気楽に相談できる雰囲気です

材料の不要部分を削り取ったり穴を開けたりする工作機械（NC旋盤やボール盤、フライス盤など）を使って、産業用機器部品の加工を行っています。SANKAの自慢は、上下の隔てなくコミュニケーションが取れて、誰とでも話せる明るい雰囲気であること。なんでもすぐ先輩に相談してスキルを伸ばし、最新の全自動レーザー加工機を使いこなしている若手も。若い社員も働きやすい環境なんじゃないかなと感じています。



国産を支える確かな技術力
それこそSANKA品質です

過去には、機械の操作中に確認不足で工具をぶつけて壊してしまったことがあります。新しい製品を一からつくった時には大きな達成感を得ました。どの社員も、成功と失敗を積み重ねて確かな技術を身につけます。多彩な機械を揃え、製品の大小を問わず仕事を受けるのですから、ずっと同じ作業をすることはありません。幅広い経験の積み重ねが、国産を支えるSANKAの品質をつくり上げているのだと思います。

MOLDING

プラスチック成形

試作から製品化まで幅広く対応

良質な製品を安定生産できる

量産体制を確立する



オペレーター
中野 晋太郎

1

試作作りはもちろん 小型から大型まで対応

当社の強みは、小型～大型まで射出成形機を備え、さまざまなサイズの製品を製造できる「多彩な設備」と、自社製品の企画・販売ノウハウを持つ「企画開発部」があること。加工機を熟知した製造部の技術者も企画会議に参加し、当事者意識を持って開発に携わります。また、お弁当箱から衣装ケースのような製品まで幅広いご要望にお応えできる体制を整えています。

成形可能サイズ

最小 **3.4**cm³

最大 **6,220**cm³

成形可能重量

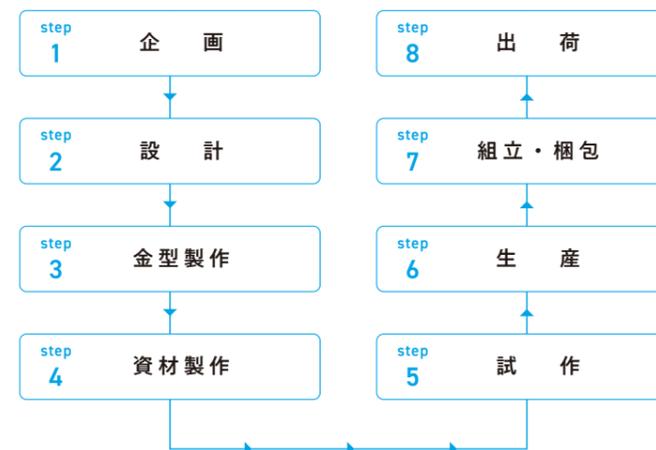
最小 **4**g

最大 **5,660**g

2

企画から試作・生産 出荷とワンストップ対応

工場の敷地内には、企画・設計部門と、製造部門、アッセンブリ(組み立て)ライン、さらに包装してダンボールに梱包する部門までが隣接しています。商品に関わる全ての工程を社内スタッフが担っているからこそ、ワンストップでの対応が可能に。タイムロス を極限まで減らした納期のなかで、しっかりとクオリティーコントロールを行いながら、お取引先様の大切な商品を消費者までお届けします。



VOICE

message from
Shintaro NAKANO



和気あいあいと
学びあえる良い環境です

現在はクレーンで金型を吊り、成形機にセットする工程を担当。クーラーボックスや衣装棚など、幅広いプラスチック製品の成形・製造に携わっています。SANKAIには、さまざまなメーカーの最新設備が揃っており、自分の技術力向上にとって良い環境だと感じています。また、仕事場の雰囲気もよく、親切に指導してくれる上司や先輩方、ベトナムやフィリピンなど海外から来ている実習生と教え合いながら、充実した毎日を過ごしています。

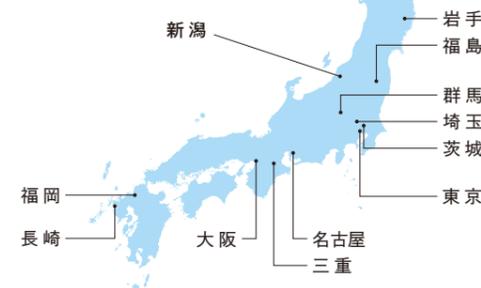


資格を取得し次なる
ステップへ進むために

一番印象に残っているのは、初めて自分一人で全ての段取りを担当して、納得のいく仕上がりになった時のこと。作業が滞りなく完了した瞬間、想像以上の達成感を感じました。機械の操作にはそれぞれ資格が必要で、できることの幅を広げるには資格の取得が欠かせません。先輩方に追いつけるよう、これからもスキルアップや資格取得を目指して日々努力し、丁寧に作業していきたいと思っています。

NETWORK

新潟から全国へ
モノづくりは広がります



株式会社 SANKA

本社
〒955-0055 新潟県三条市塚野目2153-5
TEL.0256-36-1113 FAX.0256-36-1114
E-mail: info@sanka.ne.jp
経理部 …… TEL.0256-47-4273 FAX.0256-47-4274
総務部 …… TEL.0256-47-4236 FAX.0256-47-4237
産業機器事業部 …… TEL.0256-47-4270 FAX.0256-47-4278
家電事業部

【産業機器事業部】

機械工場
〒955-0054 新潟県三条市大宮新田320-1

プレス・板金工場
〒955-0054 新潟県三条市大宮新田303-1

アッセンブリ工場
〒955-0055 新潟県三条市塚野目大月2163

上尾工場
〒362-0011 埼玉県上尾市大字平塚2563-3
TEL.048-775-2121 FAX.048-775-2190

郡山工場
〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字川久保98
TEL.024-943-3113 FAX.024-943-5365

遠野工場
〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢第27地割11-1 1号棟 1階
TEL.0198-66-3331 FAX.0198-66-3332

【生活用品事業部 / OEM事業部】

三貫地工場
〒955-0001 新潟県三条市三貫地新田965-1
TEL.0256-46-0037 FAX.0256-46-8120

塚野目工場
〒955-0055 新潟県三条市塚野目2153-5
三重工場
〒518-0001 三重県伊賀市佐那具町1781-3
TEL.0595-24-7575 FAX.0595-24-7577

九州工場
〒857-0322 長崎県北松浦郡佐々町松瀬免452
TEL.0956-63-3300 FAX.0956-63-3318

高崎工場
〒370-0883 群馬県高崎市剣崎町155番地
TEL.027-386-3243 FAX.027-386-3273

【住環境事業部 / 健康機器事業部】

加茂須田工場
〒959-1303 新潟県加茂市後須田2445-1

【食品事業部】

茨城工場
〒306-0433 茨城県猿島郡境町477
TEL.0280-87-1144 FAX.0280-87-1730

【自動車用品事業部】

大月工場
〒955-0055 新潟県三条市塚野目2171
TEL.0256-47-1355 FAX.0256-47-1356

長岡工場
〒940-1164 新潟県長岡市南陽2丁目949番地3
TEL.0258-23-2100 FAX.0258-23-2110

高崎工場
〒370-0883 群馬県高崎市剣崎町155番地
TEL.027-386-3243 FAX.027-386-3273

【木製品事業部】

保内工場
新潟県三条市上保内乙221
TEL.0256-47-4340 FAX.0256-47-4341

花立工場 / 通販事業所
〒955-0055 新潟県三条市塚野目4-15-45

エンジニアリング事業部
〒370-0883 群馬県高崎市剣崎町155番地
TEL.027-343-1511 FAX.027-343-1518

新潟物流センター
〒950-1457 新潟県新潟市南区清水清水6-1090

東京営業所
〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷1-19-8 吉澤第一ビル501号室

名古屋営業所
〒465-0068 愛知県名古屋市名東区牧の里3-201 エクセル東丘302

大阪営業所
〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通4丁目117 エスティニ崎304号

福岡営業所
〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡1021-2 西邦ビル101

SANKAグループ

杉浦製罐株式会社 本社 / 守谷工場
〒302-0110 茨城県守谷市百合ヶ丘2-4807
TEL.0297-48-2551 FAX.0297-48-2552

杉浦製罐株式会社 新潟燕工場
〒959-1286 新潟県燕市小関1166
TEL.0256-64-2848 FAX.0256-64-2896

株式会社古俣工業
〒959-0423 新潟県新潟市西蒲区旗屋474-1
TEL.0256-88-6265 FAX.0256-88-3933

株式会社ミナト精機製作所
〒370-3402 群馬県高崎市倉沢町三ノ倉1019
TEL.027-378-2097 FAX.027-378-3303



本社



三貫地工場 [生活用品事業部 / OEM事業部]



機械工場 [産業機器事業部]



プレス・板金工場 [産業機器事業部]



アッセンブリ工場 [産業機器事業部]



上尾工場 [産業機器事業部]



郡山工場 [産業機器事業部]



遠野工場 [産業機器事業部]



塚野目工場 [生活用品事業部]



三重工場 [生活用品事業部]



九州工場 [生活用品事業部]



高崎工場 [生活用品事業部 / 自動車用品事業部 / エンジニアリング事業部]



加茂須田工場 [住環境事業部 / 健康機器事業部]



茨城工場 [食品事業部]



長岡工場 [自動車用品事業部]



大月工場 [自動車用品事業部]



保内工場 [木製品事業部]



花立工場 / 通販事業所



新潟物流センター



杉浦製罐株式会社 本社 / 守谷工場



杉浦製罐株式会社 新潟燕工場



株式会社古俣工業



株式会社ミナト精機製作所

PRESIDENT

人とともに、地とともに。

SANKA が目指す、その先のモノづくり。



当社は1969(昭和44)年に、三条の地で創業いたしました。ネジなどの部品加工から始まりましたが、時には厳しく、時には喜びを分かち合いながら、地域の中で育てていただいたという想いが、今も変わらず会社の礎となっています。

1981(昭和56)年に法人化するにあたり、社名を「サンカ」としましたが、お取引先様・地域社会・社員の“三者”が集い“参加”し、お互いに高め合いたいという思いがあるからです。何よりも大切にしてきたのは「人づくり」です。「モノづくりの前に人づくり」を合言葉に、単に腕のいい職人ではなく、真の技術者を養成してきました。その結果、幅広い生産技術を身につけ、一貫生産体制を確立することができました。

近年は、以前からお任せいただいている産業用機械部品、お取引先様の企画を具現化するOEM商品、開発力の問われるオリジナル商品、この3つが事業の柱となっています。2019年には創業50周年を迎え、翌年には単体で100億円を突破。当社も次のステージへと踏み出す時期にきています。「モノづくりのオールラウンダー」を目指し、人の暮らしに必要なもの、求められるものを自分たちで企画し、自分たちで製造していく。より時代にあったニーズに応える企業を目指し社名を「サンカ」から「SANKA」へと変更するのはそのためです。

「人とともに、地とともに」。当社はこの言葉を企業スローガンとして掲げてきました。それはもはや当社社員と三条地域のことだけではありません。すべての人、そして地球に貢献していくという意味です。当社は2017年にベトナムへ進出しましたが、私が若かった頃の日本の姿を思い起こさせます。普通の人々が、快適に暮らすための製品を一つ一つ提案していきたい。人と環境に配慮した総合メーカーとして、できることは何かを探求していきたい。そして、SANKAのモノづくりをさらに進化させていきたいと考えております。

代表取締役 **神子島 岩男**
Iwao KAGOSHIMA



株式会社SANKAは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

会社概要

創 業	1969年8月10日	事業内容	産業用機器部品・自動車用部品・生活用品・家電用品 健康機器・食品・木製品・住環境芸・OEM
設 立	1981年6月19日	取引銀行	みずほ銀行新潟支店、三菱UFJ銀行新潟支店 三井住友銀行新潟支店、第四北越銀行三条支店 りそな銀行長岡支店、大光銀行三条支店 三条信用金庫塚野目支店
資 本 金	5,000万円	仕 入 先	伊藤忠商事株式会社、株式会社野崎忠五郎商店 三光総業株式会社、株式会社久保紙器
代 表 者	代表取締役 神子島 岩男	販 売 先	株式会社コロナ、日本精機株式会社、株式会社コメリ パール金属株式会社
役員構成	取締役社長 取締役経理部長 副社長執行役員 専務執行役員 常務執行役員 代表室 室長 執行役員 成形製造部 統括部長 執行役員 成形製造部 部長 執行役員 産業機器製造部 部長		
	神子島 亨 神子島 由利子 広川 悟 泉田 博之 阿部 和仁 星野 光栄 諸橋 敏郎 高橋 秀和 横山 悟		

沿革

1969年 8月	会社創業 ネジおよび挽物等の製造を開始	2016年 3月	株式会社サンモクをグループ化 ※木製品製造
1978年 11月	規模拡充のため三条市塚野目笠原165-2に移転 機械設備を増設しプレス部門を新設	9月	三重工場新設
1981年 6月	会社を法人組織とし株式会社サンカに改め 溶接部門を新設	2017年 10月	SANKAベトナム新設
1982年 7月	オリジナル工場として三条市中坪508に 第二工場を新設オリジナル製品の生産を開始	12月	塚野目機械工場新設
1984年 11月	生産能率向上のため三条市塚野目字姥池1304-1に アッセンブリ工場を新設	2018年 1月	木製品事業所新設
1986年 9月	生産システム近代化5カ年計画事業として 本社に機械加工工場を増設	6月	株式会社小倉製作所を継受
1988年 10月	第二工場をアッセンブリ工場脇に隣接 名称を株式会社サンカ第二工場とする	2019年 3月	花立工場新設
1989年 2月	株式会社サンテクト設立	8月	株式会社藤田製作所を継受
7月	株式会社サンアイデア設立	9月	保内工場新設
1990年 5月	本社・工場を三条市三貫地新田965-1に新築移転し 第二工場を株式会社サンカ塚野目工場と改称	2020年 12月	本社を三条市塚野目2153-5に移転 新潟物流センター新設
1992年 9月	塚野目工場に配送センター新設	2021年 3月	株式会社ノザギを継受
11月	本社第三工場新設	5月	プレス・板金工場新設 ※株式会社藤田製作所を移転
1993年 10月	本社第五工場新設	7月	株式会社阪東工業を継受
1994年 10月	本社第六工場新設	8月	大月工場新設
1996年 3月	本社第四倉庫新設	10月	株式会社小倉製作所を吸収合併
2006年 3月	三条市塚野目6-11-17に第二事業部設立	11月	加茂須田事業所新設
2007年 7月	営業七課設立	2022年 1月	社名を株式会社サンカから株式会社SANKAに改称
10月	ISO9001:2000 認証取得	3月	竹井機器工業株式会社を継受
2008年 5月	本社第七工場新設	4月	株式会社阪東工業を吸収合併
7月	ISO14001:2004 認証取得	7月	株式会社藤田製作所を吸収合併
2009年 2月	本社アッセンブリ工場新設	7月	株式会社小島鐵工所を継受
2010年 1月	本社機械加工部事務所新設	9月	風見米菓株式会社を継受
9月	三条市荻島980に第二事業部新設	2023年 4月	昭和化成工業株式会社を継受
2011年 9月	金属団地内に塚野目工場新設(機械加工部)	6月	株式会社東京島津を継受
2012年 7月	東京営業所新設	12月	杉浦製罐株式会社を継受
2013年 5月	福岡営業所新設	2024年 1月	株式会社ノザギを吸収合併
11月	九州工場稼働	3月	風見米菓株式会社を吸収合併
2014年 9月	大阪営業所新設	3月	株式会社古俣工業を継受
12月	FOC事業所新設	4月	株式会社ミナト精機製作所を継受